

居住地交流の記録

児童・生徒名	小学校1年生	日付	12月	教科	生活
交流のねらい (この時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とのかかわる中で、手伝う経験や手伝ってもらふ経験を積む。 ・友達の作ったおもちゃで遊ぶ。 				
内容	時間	活動内容・記録			
	10:45 11:10	単元名 「秋を見つけておもちゃやさんをひらこう」 ・それぞれのブースで自分の作ったおもちゃをお店のよう に 展示し、来たお客さん に 対して順番 に 遊んでもらう ○前半グループ ○後半グループ ・本人はずっとお客さん として 動く。 ・小田原支援学校のこくご・さんすう の 時間 を使って 、本人 の 作品もブース へ 展示 して 遊べる ように した。 ・メニューやカップ をもって 上げる、Dさん が 「〇〇 が 欲しい！」 という と指 を さし ながら 「リンゴジュース で いい？」 と 確認 し 合う。いろいろなブース で 子ども たち が作った作品 を 、子ども たち がこう やって 遊ぶんだよ！ と 積極 的 にかかわり に行 く。自分で 作 ったもの だから こそ、こう な ってほしい！楽しい を 共有 したい と思 った か。 ・ICT を活用 して本人 の おもちゃ の 遊び方 を 全体 へ 向 けて 説明。 ・情緒級 の 児童 も 「できないかあー」「ちょっと 難 しいね」「こう する とできるんだよ」 と 落ち着 いて やり取り を する。 ・感想発表 にも 本人 の 名前 が 出 て くる。 ・ICT で 本人 も 感想 を 発表 できる ように した 。			

振り返り 次回配慮すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に何を質問したいか。児童が考えられるとよい。ICTの学習が進むにつれて行っていけるとよい。 ・車いすへ手を伸ばず児童がいた。どのように扱ってよいか保護者と確認をしながら学級へ周知していく必要がある。
-------------------	---